



SN-8
(Guitar and All Instrument)

TUNER
INSTRUCTIONS
取扱説明書

チューナー機能について

SNARK

SNARKクリップチューナーをお買上げ頂き誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書に記載されている機能、操作手順、注意点をよくお読みの上、正しくご使用頂けます様をお願い致します。

それでは、最初にチューナー機能についてご説明致します。SN-8はギターも含め、幅広い楽器全般のチューナーとして使用可能です。クリップスタイルのチューナーで取り付けられた楽器の振動を感知しチューニングを行います。

楽器への取り付け

で取り付けます。取り付けの際には楽器に傷などが付かないように注意して下さい。

また、SNARKのクリップ部は傷などが付きにくいように楽器と触れる内側部分にラバー(ゴム)パッドを使用しています。取り付けの楽器の塗装や仕上げ方法により塗装焼けや割れ、くすみといった問題が発生する可能性がありますのでご注意ください。

①ギターへの取り付け
ギターのヘッド先端部をクリップで挟んで取り付けます。ヘッドの表側、裏側でチューナー・ディスプレイが見やすい方にセットして下さい。

②その他楽器への取り付け
楽器の振動を感知しやすい部分にクリップで挟んで取り付けます。

SNARKクリップチューナーは楽器に取り付けた後、チューナー・ディスプレイ本体とクリップ部及び接合しているアームが固定されていませんので角度が自由に変えられます。またチューナー・ディスプレイ本体部分も360度回転させることが可能ですので、見やすい位置にセットすることができます。ただし、力づくで無理に動かしたり、動かす際に落としたりすると本体が破損してしまいます。また楽器にも傷を付けたりする可能性がありますので注意して操作して下さい。

SNARKクリップチューナーを楽器に取り付けたら、チューナー・ディスプレイ本体のパワー・スイッチを押すことでチューナーが作動します。



SNARKクリップチューナーはA=440Hzに基準設定されていますが、ピッチキャリブレーション・スイッチを押し、ピッチダウン&b・スイッチとピッチアップ・スイッチを押し操作することで、A=415~466Hzの間で基準ピッチを変えることが可能です。基準ピッチを変えた後、A=440Hzに戻りたい時はパワー・スイッチを押すと元に戻ります。尚、パワー・スイッチを操作した時点で基準のA=440Hzに戻りますので、基準ピッチを変更したい場合はその都度設定を行って下さい。

チューニング方法

SNARKクリップチューナーの取り付け、ピッチの設定が終わりましたら、チューニングしたいギターの弦やその他の楽器を弾くとチューナー・ディスプレイにその時の音名と高低が表示されます。例としてギターの5弦をチューニングしたい場合、音名をAと表示されるようにギターのチューニングマシンを調節してゆき、チューナー・ディスプレイの表示が赤の表示の範囲ではb、黄色の範囲では#を示していますので、チューナーディスプレイの表示がセンターの位置(時計の12時の位置)に止まるように微調整を行って下さい。

他の弦も同じ要領で繰り返しチューニングを行います。尚、SNARKクリップチューナーはクロマチックチューナーですので、ギターの変則チューニングやギターに関わらずさまざまな楽器のチューニングが行えます。

トランスポーズ機能

ギターにカポを使用するプレイヤーは便利な機能です。通常、ギターの1フレットの位置ヘカポを装着しチューニングをおこなう場合、開放弦の状態から半音上がったチューナー表示でチューニングする必要がありました。(例:開放=E/1フレットヘカポ=F)。

SNARKではピッチダウン&b・スイッチを押すことにより、トランスポーズ機能が作動し1フレットヘカポを装着した場合でも開放と同じEの表示でチューニングすることが可能です。このトランスポーズ機能はピッチダウン&b・スイッチを1回押すごとに半音ずつチューナー・ディスプレイの音名表示が実音より下がった表示となり、4回まで押して同様の操作、設定が可能です。(例:開放=E/4フレットヘカポを装着してもチューナー表示はEのままでチューニングが可能)。

トランスポーズ機能を作動させた時、ピッチダウン&b・スイッチを1回から4回まで押すごとに、チューナー・ディスプレイにbマークが1個から4個まで表示され機能の状態が分かるようになっていきます。

機能を解除したい時はピッチダウン&b・スイッチを続けて5回押しチューナー・ディスプレイにbマークが出ない状態にするか、パワー・スイッチで電源をOFFにすると解除できます。

※トランスポーズ機能を使用している時にはピッチキャリブレーションはキャンセルされます。よって基準音はA=440Hzのみになります。

タップテンポ/メトロノーム機能 (発音しません)

SNARKクリップチューナーには簡易メトロノーム機能が搭載されています。

パワー・スイッチで電源をONにしTAP/METスイッチを押せばチューナー機能からメトロノーム機能に移行します。この時、チューナー・ディスプレイにテンポ表示と共にハートマークが点滅し簡易メトロノームになります。

テンポを変えるにはピッチダウン&b・スイッチとピッチアップ・スイッチを押すことで遅く、早くが調節できます。

またTAP/METスイッチをお好みの速さで複数回押すことでテンポを変えることができます。この機能を解除したい時はパワー・スイッチを押すことでチューナー機能へ戻ります。

パワーセーブ機能

電池の消耗を極力防ぐため、パワー・スイッチでONにしている場合でも10秒間無音の状態が続いた時、チューナー・ディスプレイの表示が暗くなります。この状態から音を感知した時点で通常の表示に戻ります。また、2分間無音の状態が続いた場合は自動的に電源がOFFとなります。

セルフテスト

SNARKチューナーは電源を入れた時、まれに正常動作しない場合がございます。それは"自己診断テスト"機能が動作しているためです。数秒で完了したのちに正常にご使用いただけますので、異常ではございません。

バッテリー交換

SNARKクリップチューナーはボタン型電池のCR2032 (3V)×1個で動作しています。

ディスプレイ表示が暗くなったままとなり見にくくなった時やチューナーが作動しなくなった時は新しい電池と交換して下さい。交換する際は本体電池収納部を外側に引き出して頂き、電池の+-を間違えないように古い電池から新しい電池へ交換し、スライドさせる要領で電池収納部を本体へセットして下さい。この時、無理に電池収納部を引き出したり、セットしたりすると内部の回路が破損してしまう場合があります。注意し交換を行って下さい。



ご注意

- ・子供の手の届かないところに飲み込むと死に至る危険性があります。また短時間で高熱を発する危険性があります。万が一飲み込んだ場合はすぐ医者に診てもらるか救急で病院に行ってください。
- ・火災/爆発/やけどの危険性
古いバッテリーはすぐに破棄して下さい。再充電、分解、間違った使い方等の行為は高温になり、火災を引き起こす原因となりますので絶対にしないで下さい。
ポケットや財布(ハンドバッグ)にバッテリーを入れて持ち歩かないようにして下さい。

楽器の塗装について

SNARKのチューナーをご使用前にお読み下さい。必要以上に楽器に付けっぱなしにしないで下さい。チューニングが終わったらすぐに楽器から外すことをおすすめします。ニトロセルロースラッカー、フレンチポリッシュ等デリケートな塗装においては悪影響を及ぼす可能性があります。本製品のご使用中に塗装変質が現れても当社では責任を負いかねます。そのようなデリケートな塗装が施されているピックアップ付きギターの場合、安心して使えるペダルチューナー"SNARK SN-10"のご使用をおすすめします。

SNARK日本輸入代理店

K キクタニミュージック株式会社
〒488-0054 愛知県尾張旭市稲葉町2-120-1
TEL(0561)53-3007 (代)

